



全作品と講評

www.columnland.net



〓 本日のスイーツ 〓

店長おすすめの甘い品々を紹介します。

① 手作りクッキー

糖度…★★☆☆☆

…ほどよい甘さで食後にぴったり。

味はバニラ、チョコ、抹茶、の三種類の中から選べます。

② ふわふわマシユマロ

糖度…★★★★☆

…当店のシェフが真心をこめて、ふわっふわに仕上げました。

その食感は、食べた者を幸せな気分にするの間違いなし！

③ 国産砂糖100%特性ドリンク

糖度…★★★★★

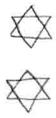
…甘い物の帝王といったら、やっぱりこれ！

世界中を飛び回り選びぬいた水に、北海道産のてんさいから取れた白砂糖をこれ以上溶けきれなくなるまで溶かしました。

④ あなたが一番に想うあの人への愛の囁き

糖度…★★★★★

…来ました、星6つ！ 甘く、しかも何度口にしても飽きることはありません！
あつ、こちらは無料ですので、ご自由どうぞ。



僕の生まれたこの国に穏やかな夜など無い。

夜の静寂は突然の爆撃音によって引き裂かれる。

陽炎のように目の前を漂っていた情景は一瞬にして消え去

り、人々は夢から現実世界へと引き戻される。

僕は街に出た。

目の前には燃えさかる炎、耳に突き刺さる人々の悲鳴。

熱気から遠ざかるように街の人々は走って逃げていた。

（もう、こんなのはイヤだ…。）

僕は逃げようとせず自分の家に戻った。

家には僕一人。

父親は戦場に行ったり、母親は先週の空襲で逃げてから帰ってきていない。

僕は寝室の壁に貼ってある君がくれた写真を眺めた。

満天の星がきらめく夜空の写真。

（寝て覚めたらこの星空が見られるかな…。）

僕はふとそう思って布団に横たわった。

（行ってみたいな、君の住む街へ。）

けたたましい騒音の中、僕は眠りへと落ちて行った。

争いのない世界、星空が誰にでも平等に与えられる世界を願って…。



「おい、ちょっといいか？」

『なによ？』

「今日、子供の血液型を調べてきた。俺たちからは生まれてくるはずのない血液型だったよ。これはどういうことだ？」

『……』

「どういうことだって聞いてんだよ！」

『ふつ、どういうことですか？決まってるじゃない。あなたの子供じゃないってことよ。』

「おまえ……それって……」

『そうよ。あの子は私が分裂することによって生まれてきたのよ。あの子は私だけの娘。誰にも渡さないわ。』

「そんな……今まで黙っていたのか」

『ええ。あなたが納得するはずもないでしょうからね。』

「当然だ！ おまえ、ヒトデとして最低だな。」

『お生憎様。今更あなたに私のヒトデ性を否定されようと痛くもかゆくもないわ。あなたは私に騙され、使われていた。そして今日、あなたの役目は終わったのよ。アハハハハ。』

「おまえ……」

キラリン☆プロデュース！

はい、本日もやってきました。あなたのお宅の輝くペットを自慢しちゃおう、キラリン☆プロデュースのお時間です。本日のお客様は東京都八王子よりお越しの鈴木さんです！おはようございます！

「あ、おはようございます。
それじゃあ、さっそくですがペットを介绍していただけますか？」

「ええ、この子がうちのペットの“綺羅星☆”です！」「ドヤア

「ハイイ」☆ キラッキラッ

なかなか変わったペットですね〜？というか番組史上初のまんま輝く子の登場だー！

「うちのきらりは、あ、きらりってのは“綺羅星☆”のあだ名ですけど、ただ光ってるだけじゃないんですよ。きらりー伏せー！

「ビターン」★ ビタッ

おおー！きらりちゃんが伏せを披露してくれましたー！辺りが急に暗くなった気がしますね〜。ていうかきらりちゃん、これって背中が煤けてるってしベルじゃないんですけどー？

「ああ、なんでも大気圏突入のときに焼けちゃったらしいんですよ〜。」

「アマリオモイダシタクナイ」＊ ガクガクブルブル

「おお、よしよし。もう大丈夫だからね。」ナデナデ

いや〜こっぴつペットと飼い主の触れ合いは何度見ても和むものですねえ。

さて、残念ながらお時間となりました。また来週、この時間にお会いしましょう！それでは、さようなら〜！！！！

「バイバイ」☆川 シュワッチ

来週は惑星イージス7よりお越しのマーサーさんです。どんなカワイイちゃんを連れてきてくれるのか、今から楽しみですね！



「この形って、誰が得するんですか？」

『らふらふらふら』



クリスマスツリーのてっぺんの輝き

4日前の12月20日、私は恋人の哲とケンカをした。哲の家でクリスマスツリーの飾り付けをしている最中だった。

「24日だけど、遅くまで仕事があるから会えないから」

そう哲が言った。私は当たり前のように哲と一緒に過ごせると思っていたのでショックだった。私は「それでも私たちは恋人同士なのか」「哲は私のことを大切に思っていないのか」と今から思えば哲のことを考えず、相当ひどいことを言った。そして、哲の家を飛び出してしまった。

あれから4日、まだ哲とは連絡も取っていない。でも、いざいヴ当日になり日も暮れるとさみしくて、無意識に足が哲の家へと向かっていた。そして、哲の家の前まで来ると奇妙なことに気がついた。一人暮らして帰りの遅いはずの哲の家の窓から灯りがもれているのだ。ちょうどその時、私の携帯電話が鳴った。哲からだった。

「クリスマスツリーの飾り付けが終わってないから手伝ってくれない？」どこか抜けていて、でも優しい、哲の声だった。

「うん、今すぐ行くね」

泣きそうな声でそう言って、私はインターホンを押した。

家の中に入ると、部屋にはご馳走が並び、装飾が施されていた。

「結局、無理言って休みもらっちゃった。それで、せっかくなら驚かせようと思っただけ」

哲は笑った。そんなに簡単なことではないはずなのに……。

「ありがとう。ごめんね」

私は何度も何度も繰り返した。言葉も涙も止まらなかった。

「泣かないで。それよりさ、」

哲が言う。

「クリスマスパーティーをしようよ、二人で。準備はあとクリスマスツリーのでっぺんに星を飾るだけなんだけど、このパーティーの準備を最後は一緒に完成させたいんだ。手を貸してくれる？」

「ええ、もちろん」

私は答え、二人でクリスマスツリーのてっぺんに星をともした。



ふと目を覚ますと 午前2時

窓を開けると 冷たい風

窓から外を 見上げたら

広がっていた 黒いキャンパス

散りばめられた 一面の星

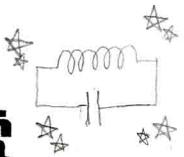
「キレイ。」

星は互いに 手をつなぎ

一つの絵画を 描き出す

この窓枠が 額縁代わり

明日、またここに来ようかな



電撃少女マジカル・プリンセス

「ひええ、遅刻しちゃうよお…！」

私は渦巻こいる。ごく平凡な中学2年生です。みんなからはこいるちゃんと呼ばれます。でも私には人に言えない秘密があります。それは、私は電撃少女で悪の皇帝ノイズからこの町をたった一人で守っているってことなのです。

でも…やっぱり独りぼっちは寂しいし、そろそろ仲間がほしいなって思っていました。

「もう、こいるちゃん遅いー！遅刻しちゃうよ！」

息を切らして走る私の前を涼しい顔で駆けるのは小学校から一緒のきやっぴーでした。

「へへ、お嬢坊さんは置いてっちゃうもんね〜」

「ま、待ってよー！いじわるー！」私の前を走るきやっぴーが角を曲がって裏路地に入って行き

ました。この裏路地は学校への近道なのです。私も彼女に追いつこうと曲がり角へ差し掛かろうとした時、

「きゃあああああああ」

その悲鳴は紛れもなくきやっぴーの声でした。

☆

急いで悲鳴の聞こえる方に向かうと、そこにはあの悪の皇帝ノイズと奴の電場で身動きの取れないきやっぴーがいました。

「フハハ！よく来たな。今日こそこの町をノイズまみれにしてやる！」

「そうはさせるものかー！」

私は緑の衣装を身に纏い、電撃少女へと変身しました。

「一気に決めるよー！」

私の正面に大きな磁場を展開させて、

「チョッパ・インパクト！」

展開された電場から雷鳴を轟かせて放たれた甚大な起電力がノイズを貫きました。

「観念しなさい。ノイズー！」

☆

「ぐっ…！しかし、観念するのは貴様の方だ、こいるよー！」

そうノイズが言い放つと、奴は無抵抗のきやっぴーに高電圧をかけ始めたのです。

「き…きやあああああ」

「や、やめて！」

私が叫ぶと奴は不気味に笑いながら言うのでした。

「貴様がこの小娘の代わりに攻撃を受けるのなら解放してやるう！」

これ以上無関係な親友を傷つけたくない。そう思った私はなおも彼女に攻撃しているノイズに誓ってしまうのでした。

「分かったわ…。好きにすればいい。でも彼女を先に開放して。」

「フハハ！聞き分けのいい奴よ。よろしい、この小娘を開放してやるう！」

こうして彼女が解放された時には、彼女はすでに虫の息だったのでした。そして私がきやっぴーに駆け寄る暇も与えることなく、先程まで彼女を苦しめていたノイズの高電圧が私を襲うのでした。

「きやあああああああ」

ノイズの強力な電圧を食らってしまった私はあっという間に体力と気力を奪われてしまい、そのまま地面に倒れてしまいました。

「先程の威勢はどうした！この程度か、小賢しき小娘エー！」

普段なら避けられる電撃をそのまま受ける屈辱ときやっぴーを戦闘に巻き込んでしまった後悔の念で私の思考回路がぐるぐるまわり、やがて渦巻く思考の混乱が熱に変わっていききました。もう反撃する気力など残っていませんでした。

「どうやら貴様もここまでのようだな。」

奴の言葉の意味を理解した時には、既にきやっぴーはノイズの一撃を食らい、黒煙の中に飲まれてしまいました。

「ノ…ノイズ、彼女には…手を出さないで誓ったはず…！」

「安心しろ。貴様もすぐにあの小娘のところに連れてってやる」私の心はもう、限界でした。

☆

ノイズが瀕死の私に攻撃の構えをとった時、突然ノイズの足元に光の円陣が出現し奴は私から吹っ飛んでいきました。

「よくもアタイの親友を苛めたな！」

これまで見たこともない、金色の素敵なデザインの衣装を身に纏い、光り輝きながら吹き飛んだ悪魔の真上を彼女は飛んでいました。

「この電撃は今までのお返し！そして、この一撃に親友の受けた苦しみを込める！」

彼女の身体が強く発光し、空間の電場を強く歪め全身に溜まった電荷を解き放ちます。

「オーヴァー・デイスチャージ！」

「ぐあああああああ」断末魔をあげながらノイズは消え去りました。

☆

その日の放課後、私はきやっぴーに今まで秘密にしてきたことを全て話しました。そして…

「きっと大きな電力と強い祈りがきやっぴーを電撃少女にしてくれたのね」

「えへへ。でもあの時本当に間に合ってたよかった。アタイはそれが誇りなのさ！」

死闘の末に結ばれた電場と磁場の絆はさらに強固なものとなるでしょう。そして、もう独りぼっちはなくなりました私は彼女と彼女の愛するこの町を守りぬくことを心に堅く誓うのでした☆

コンテスト結果

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
01	～本日のスイーツ～	18 pt	1 位	1 sp
		<p>糖度がだんだん増してゆく。クレッシェンド加減が楽しい演出の今週の表紙です。「何度口にしても飽きることはありません」がツボでした。</p> <p>ときにマシュマロやドリンクの価格はいかほどなのでしょう、店長さん？</p> <p>★あしらの巧みさでゴールド・メダルです、おめでとう☆☆☆☆☆☆</p> <p>特別賞：意味とりちがえ賞 from J班（国産100%か砂糖100%かでギロン発生）</p> <p>イチオシフレーズ：「特性ドリンク」</p>		
02	星空	3 pt	6 位	2 sp
		<p>今、この瞬間にも銃声とどろく街がある。世界のどこかで不安な夜が過ごされている。</p> <p>そのことへ、せいっぱいのアンテナを伸ばして、どうか災いが無くなりますようにと祈りのようなフレーズが心にしみました。それが届いて平和賞をダブル受賞です。おめでとう☆</p> <p>「僕は」の連呼がややくどいので、自明の主語はばっさり省くと、より描写がシャープになります。ぷち★アドバイス。</p> <p>特別賞：平和記念賞 from D班（平和に星空を眺めていられる幸せがどれだけすばらしいものか以下略）</p> <p>コラム平和賞 from G班（平和っていいね！）</p>		
03	★たちの愛憎劇	5 pt	4 位	1 sp
		<p>うわあ★楽しい☆最高☆☆☆</p> <p>会話のリズムで爆笑です。「ヒトデとして最低だな」。いつかどこかで使ってみたいキメセリフ。</p> <p>めでたく今週のイチオシフレーズ大賞です、おめでとう☆</p> <p>特別賞：このヒトデなし賞 from H班（これが人間のやる事かよ！）</p> <p>イチオシフレーズ：「おまえ、ヒトデとして最低だな」×2 「ヒトデ性」</p>		
04	キラリン☆プロデュース！	1 pt	7 位	1 sp
		<p>謎の生物登場です。キラリちゃん。どんな風体なんだろう、という描写がないので、隕石の親戚？？くらいの想像しかできないのですが、効果音がいい感じに雰囲気であらわしてました☆</p> <p>特別賞：ひらがなにしま賞 from C班（作品は楽しいですが、煤けが読めなかったです。。。）</p> <p>イチオシフレーズ：「シュワッチ」「なんでも大気圏突入のときに焼けちゃったらしいんですよ～」</p>		
05	ひとでのひとりごと	0 pt	8 位	1 sp
		<p>だれとく？ うーん。問いかけられて考え込みます。</p> <p>目がいっぱいあっておもしろいよ、とか、ちょっと仮説があると、おもしろかったか。</p>		

		特別賞：ふぁぼで賞 from A班（誰が得するのは明白じゃないですか？）
06	クリスマスツリーのてっぺんの輝き	<p>5 pt 4 位 2 sp</p> <p>ゆったりと持ち上げていって、ラストでしあわせ全開。てっぺんに飾る星のシーンがロマンティックでほのぼのします。 タイトル説明的で、ややもったいない。ストレートに「最高の輝き」とかで良かったのでは。 特別賞：未長く幸せになってほしいで賞 from E班（幸せそうだった）ザ★リア充賞 from I班（いい話あよね！）</p>
07	真夜中のミュージアム	<p>18 pt 1 位 1 sp</p> <p>窓枠から見上げた夜空、というフレームの切り方がとても新鮮でした。ひろい星空だからこそ、敢えて四角く切り取って眺めることのおもしろさ。 「キレイ」というピュアな気持ちがストレートに伝わってくる佳品、みごとにゴールド・メダルです、おめでとう☆☆☆☆☆ 特別賞：天体観測賞 from B班（アアアwww天体観測を知らない人がいるウウウ） イチオシフレーズ：「明日、またここに来ようかな」×2</p>
08	電撃少女マジカル★こいる	<p>10 pt 3 位 1 sp</p> <p>うん、きゃっぴーへの愛は良く分かった。レギュラーシール貼ったから、好き放題暴れさせていただきました★といったところでしょうか。 妄想全開、作者バレものともせずのパワーに圧倒されます。でもって、いろいろとためになる仕掛けがあるんだそうで、楽しみに見つけてあげてくださいな☆ おめでとうブロンズ・メダル☆ 特別賞：電磁気の教科賞 from F班（回路の勉強になる） イチオシフレーズ：「オーヴァー・ディスチャージ！」×2</p>